

7月定例記者会見 会見録

7月5日(木)11:00～

質疑応答

■プールの事故について

記者

竹園西・東のプールの事故なんですけれども、これは原因とか、再開のめどと
いうのは分かっているのでしょうか？

市長

竹園西小の原因は分かっていますが、東小についてはどの部分でどうけがをした
のか、目立った破損等はありませんので、まだ公表できない状況です。ま
た、再開等の見通し等については、担当課からお願いします。

教育局長

竹園西小につきましては、再開のめどは、まだ修理が終わっておりませんので、
二の宮公園のプールを活用してやっている、ということです。竹園東小学校に
ついても、今調査中でまだ決まっております。

■ブロック塀の点検結果について

記者

学校以外にも施設があると思うんですけれど、もうちょっとタイムスケジュー
ルとか、いつごろまでに撤去するとか、この施設については撤去するけれど、
これは修理とか、具体的な何かありましたら。

教育施設課長

学校施設には6箇所あり、ブロック塀を撤去して対応する、という方向で事業
を進めています。

記者

学校そのものについての調査ももちろんされたと思うんですけれど、もうちょ
っと広くといいます、通学路の調査とか何かやっているのでしょうか？

市長

通学路についても、保護者の了解を得ながら、確認などを進めているところで

すが、どういう仕組みでやっているかについては担当課からお願いします。

教育施設課長

学校それぞれで進めると思うんですけど、夏休みに入ってからというか夏休み直前にPTAがございまして、PTAを中心に通学路の危険箇所の危険等の点検をやっていただきます。それについて御協力いただけるように、話をしているところです。

■SDGs 未来都市の選定について

記者

SDGs 未来都市について認定されたということなんですけれども、他の都市では具体的な事業に関しての助成が付く支援、資金的な援助が付く具体的な事業が進められているんですけども、本市ではそういった状況に至っていないということで、今後具体的にどのような行動や事業に移されていくかについてお願いします。

市長

当然予算がないとできない部分がありますので、今回提案したものをベースに9月議会で補正予算を計上できればと思っております。

記者

具体的な内容については、これからということでしょうか？

市長

はい、今さまざま調整しているところで、どれをどう出すかというのは、今の段階ではお待ちいただければと。

■大規模事業の進め方について

記者

大規模事業の進め方に関する基本方針について、総合運動公園の問題から発したものだと思うんですけども、民意を適切に把握していくという項目が盛り込まれていますけれども、具体的にどのように民意を吸い取って事業に反映されていくのか、その辺の手続きですとか、どういった方法が考えられるのかという点について教えてください。

市長

まず情報をきちんと提供しようということで、行政が今どういうことに取り組んでいるかとかですね、例えば、その事業がきちんと市民のニーズに基づいているんだらうか、それらを踏まえた上でちゃんと市民とコミュニケーションを取っていくという、こういう3つの視点が中心になっています。行政だけで情報を抱えて決まったことを出すというのではなくて、問題意識の段階から市民と共有をして、かつ、いろんな対話をしながら、本当のところをちゃんと探っていくというか、その上で合意形成を図っていくというような意識にシフトしていく必要があるんだらうというふうに思っています。

記者

もちろん意見を聞くのは重要かと思うんですけども、逆に意見をたくさん聞いて時間が掛かってしまう、時にはスピード感を求められるような事業もあるかと思いますが、その当たりのバランスをどのように図っていかれるお考えでしょうか？

市長

例えば災害対応であったりとか、緊急を要するものについては今回例外規定がありますし、市民生活ではいろんな締切りがあるものというのは事業ではあると思いますので、そのあたりは今回対象にはならない規定はされています。ただ、何でもかんでも除外していいかということ、急ぎの案件でもこれと全く同じフローではなくても、市民の意見を聞くというのはどこかでベースとして入れていく必要はあると思っています。

■ブロック塀の点検結果について

記者

ブロック塀なんですけど、保育所に新たに4つ不適合箇所が見つかったという事で、担当課に伺いたいのですが、具体的に不適合となったのは高さが2メートル以上とか、あるいは控え壁がないとかあると思うのですが、どういう違法箇所があったのかということと、このブロック塀というのは、例えば他の子どもの通学路になっているとか、そのような状況があるのかどうかちょっとお尋ねしたいのですが。

こども部長

実際に荃崎地区の3保育所にありまして、門扉の所の高さが1.5メートル、幅が6メートルから7メートル位の門扉の所だけです。周りはネットフェンスになっております。控え壁がなかったものですから、今回発表させていただきました。

記者

3箇所っていうのはその荃崎地区の3箇所というのは上郷高校を除いてですね。分かりました。

■大規模事業の進め方について

記者

大規模事業の方針について市長にお尋ねしたいんですけど、10億円以上という金額、10億円というものにした理由とですね、民意の適切な把握ということで適切な情報とか市民とのコミュニケーションを図るための環境作り、これは非常によろしいかとは思いますが、具体的に住民投票を実施するとか、なんらかの制度的な担保がないと積極的な情報というのは割と主観的なものではあると思うんですね。広報に出したから情報提供しているじゃないかということも言えますし、いまひとつこの実効性というのがこれだけではピンとこないのですが、どうやって実効性を保つのでしょうか？

市長

まず10億円の基準ですが、全国のさまざまな事例をみた中で10億円としてるところが主流だったという事が一つですね。確かに1億円もあるかもしれませんが、この検証には非常に時間が掛かるものになりますし、かなり行政コストもかけてやるものでありますので、あまり小さい金額の規模でやってしまうと、行政としても進めようがなくなってしまうので、当然何が正しいというのは無いんですけど、その中で見出したのが10億円。ご指摘のように住民投票は入れておりませんし、積極的な情報提供やコミュニケーションというのは確かに抽象的な部分はあるかもしれませんが、アセスメントの方向といくつか基準を書いたりしていますが、初めての試みですのでいろいろと運用してみて、いくつか事例を実際にこのフローに乗せてみる中で、改善がやはり必要だなと思えばしていく必要がある、現段階ではこのような形で運用していきたいと思っています。

記者

そうすると、この方針を今年の9月で策定ということですが、どうなのでしょう、適度に方針というのは修正していくようなイメージなのでしょうか？

市長

今の時点で修正を前提としているわけでは決してありません。運用していく中でこれは不十分だねということがあれば修正が必要でしょうし、逆に行っている事業の中では充分方針として機能しているなどと思えばそのまま運用していきます。

記者

大規模事業の方針なんですが例えば、他の自治体で制定しているものを、市長が担当課からご存知だったら教えていただきたいのですが。

政策イノベーション部長

大規模事業の評価と制度につきましては、例えば横浜市、大阪市、川崎市、北九州市、新潟市、相模原市、前橋市など、それぞれ金額が非常にまちまちになっておりまして、大体先ほど市長からの話にもありましたが、この辺の数値を引っ張ってきて参考にしつつ10億円という数字にしております。あと茨城県でも公共事業の評価というのがありまして、それも10億円という数値を出しております。

記者

県内の市町村ではこういう方針を作ったのは初めてとかではないですかね。

政策イノベーション部長

茨城県内では策定した自治体は把握しておりません。初めてだと思います。

■プール事故について

記者

プール事故の案件なんですけども、竹園東小学校の現在の状況ですが、これは使用中止になっていて、代わりの施設での授業というのは、今は行っていないということでしょうか？

教育局長

その通り、まだ今のところ行っておりません。

記者

授業の計画とかに支障はないのでしょうか？

教育局長

この後、原因が見つかり次第、特別な時間割で対応したいという風には考えております。

記者

原因の部分なんですけども、確か発表いただいた時に、水を全て抜いてプールを施行した業者と一緒に、また確認をするというお話だったと思うのですが、これはもう終わったのでしょうか？

教育施設課長

今、その業者さんと底面の方を調べまして、調査が終わった段階です。

記者

その結果でも特定はできなかったということは、プール槽だけではなくて、例えばプールサイドですとか、そもそもプール事故なのかどうなのかよく分からないような気がするんですけど、その辺はあくまでもプールの中で起こった事故というように考えてよろしいですか？

教育施設課長

その辺はまだのプールサイドの可能性もあるし、プール槽じゃないっていう可能性もまだ特定はできておりません。

記者

プールサイドの方は調べているのでしょうか？

教育施設課長

うちと学校で、目視で調査をしております。

記者

今後は特に予定は無い？プールサイドについて。

教育施設課長

プールサイドにつきましては今のところ目視だけです。

記者

ブロック塀の件につきまして、市内でこのような適合ではない施設についてのブロック塀の調査をこれまでしたことがあるかどうか教えてください。

教育施設課長

今までこういった調査をしておりませんでした。

記者

調査していなかった理由についてはいかがでしょうか？

教育施設課長

学校ができたのは昭和 40 年代で、建築基準法が改正されたのが昭和 56 年でしたのでそのままになっていたような状況です。

■つくば駅前について

記者

クレオの問題で、西武とかイオンの跡地の上の方に図書館など公共施設を入れたいという話が先日あったんですけども、その後の進捗状況とかもし報告できるものがあればお願いします。

市長

図書館というのも、あくまでも入れたいというよりはそういうニーズが高かった、声が多かったという部分ですので、まだ図書館を入れる入れないというのは結論は出ていません。6 月議会で補正予算を議決いただきましたので、そこでコンセプトや今後の見通しを立てていきたいと思っております。現在の状況については、担当課から説明してもらいます。

学園地区市街地振興室長

6 月補正で計上しておりました予算の契約については手続き中ですので、早急に契約できるように手続きを進めている状況です。

記者

特に進展はしていないんですね。

学園地区市街地振興室長

特にお話しできるようなことはありません。

記者

わかりました。

記者

クレオの関係なんですけれども、この前市が試算したところ、図書館を入れると改修費用が非常にかかって20億円でしたか、ちょっとろ覚えなんですけれども、かかるという話でした。あと、大規模な施設修繕ですね、老朽化している部分の修繕を含めると、もっとお金がかかるという話でした。これまでずっと都市整備がいろいろな形で募集してもテナントが集まらないとか、あるいは、そもそも買ってくれるところがないというのは、施設が老朽化していて非常に維持コストがかかるために、なかなか買い手、もしくは借り手が見つからないということなんでしょうか？

都市計画部長

大規模商業施設のニーズの問題が多少あるかと思いますが、建物自体については、躯体はしっかりしているという状況もございます、ただ設備関係については随時更新をしなくちゃいけない部分も今後出てくる可能性もあるということで、リーシングという中では賃料が高いので、商業施設がなかなか見つからなかった。そういうことと、かなり土地も高い地域ですので、土地を買って事業を行うというハードルが高い状況もあるというところですが、まだ、施設そのものの購入とか、検討は都市整備も続けてしている状況ですので、もうちょっとお時間いただいて経過を見ていきたいと思っています。まるっきりにない引き合いがないとか、そういう状態ではないという状況のようではございます。